

先週の回答

一念 通天

現在の聖子ちゃん



「一念岩をも通す？ わかります。一念とゆう坊さんが岩をくりぬいて、その穴を通りぬけて行ったんでしょ？」

「バカか、お前は」

「ありがとうございます」

「一念とゆう坊主はいるかも知らんが、わしが言っとる一念は、どうしても成し遂げたい固い決意・願いの一念だ」

「何ですか？ それは」

「だから、その一念があれば、不可能はない。その一念があれば、その気迫で固い岩盤の岩をも通過することができると言っとるんだ」

「二例をあげてください」

「たとえば『王将』だ。♪やくとと思えば、どこまでもやるさ♪が、それだ」

「やると思うことですね」

「思うだけじゃだめだ。血の出るような努力が伴わなければ。その血の出るような努力の素が一念だ。一念が努力をさせると言ってもいいだろう、わかるな」

「もう少し具体例をあげていただかないと」

「会社に入ったからには必ず出世してみせる。同僚が女の尻を追っかけ回して、徹夜マージャンに明け暮れているのを尻目に、ひたすら仕事に励んでとうとう社長になった。社長になれたのは必ず出世するの一念だが、その一念が脇目もふらずに働く努力をさせたと言えるんだ、わかったか」

「わかりました。吉永小百合と松田聖子がそれですね」

「・・・?」

「女性は誰も、いつまでも美しく若くい

たいとゆう万国共通の願望を持つていますよね、その一念が、小百合ちゃんの場合は毎日欠かさず水泳をさせ、エステをさせ、ジョギングに汗水を流させ、心身ともに健康美を保たせているから実年齢よりも十年も二十年も若く見える。聖子ちゃんは究極の化粧術と飽くなき異性関係を持続して、肉体から発散する若さを保って、十も二十も若く見せてる。どちらも老化しないぞの一念が、そうさせているんですね」

「言えてるかも」

「よくわかりました。その一念とやらがあれば、誰でも若さと美貌を保てること」

「それはちがう。誰でもではない。素地が不細工では一念だけではどうしようもない」

「やっぱり」

十数年前の二人



